

学校教育目標



夢 に向かっていく生徒
命 を大切に作る生徒
絆 を互いに深め合う生徒



須和田が丘

令和5年度
学校だより No. 13
令和5年 10月 10日

市川市立第二中学校
校長 杉山 哲

ホームページ <https://ichikawa-school.ed.jp/dai2-chu/>

二中フェスティバル

9月28日(木)、二中フェスティバルが開催されました。「生徒の主体的な学び、主体的な活動を推進するため」の取組の一つとして、発案、企画の段階から生徒が主体となって進める、まさに、生徒の、生徒による、生徒のための行事であり、コロナ禍前に行っていた「須和田祭」に代わる取組として、昨年度よりスタートした取組です。昨年度の結果を踏まえて、今後の方向を検討することにしましたが、生徒一人一人の主体性を育み、自己肯定感・自己有用感の向上に非常に効果があったと考え、昨年度の反省を踏まえて改善しつつ、今年度も継続して実施することとしたものです。

「様々な壁をなくし全校生徒のつながりを深める」「二中を愛にあふれる学校にすることで誰にとっても過ごしやすい場にする」など、明確な目的意識のもと、30人以上の実行委員と生徒会本部役員が中心となって何ヵ月もかけて準備を重ね、生徒が自分たちの手で、自分たちのために作り上げてきた結果、生徒の活動としてもイベントとしても、完成度・スケールともに昨年度を上回る、大変有意義な行事になりました。

話し合いを重ねて練り上げた今回のテーマは「愛～〇〇をばらまけ～」です。オープニングセレモニーでは、威勢のいい掛け声とともに意外なところから実行委員長が登場し、続けて実行委員が「テーマの〇〇には、『二中への愛』の他、それぞれが大切にしている自分にとっての『愛』を見つけ、感じてもらいたいという意味が含まれています！」と、テーマに込めた想いを説明すると、早くも体育館は熱気に包まれます。パワーポイントで第一部「ブース発表」の内容の紹介があると、さらに高まる期待に盛り上がる会場。進行役の実行委員の、「行ってらっしゃーい！」の一声を受けて、全校生徒がそれぞれ、思い思いの発表ブースに向かいました。



第一部では、各種のパフォーマンスやゲームをはじめ、似顔絵、写真撮影、おみくじ等々…それぞれに工夫を凝らしたブースがたくさんあって、どこも大盛況でした。

あっという間に再び体育館に集まる時間となり、第二部の開始。オーディションを通過した人たちだけあって、素晴らしい発表が続きます。ダンスパフォーマンス、演劇、ピアノとバイオリンのユニット、コメディ……どれもハイレベルで見応えがあるものばかり。観客を巻き込んでの大盛り上がりあり、思わず引き込まれてしまうものあり。先生方もちょいちょい出演して、その度みんな大喜び。白百合学級と応援の先生方による「ジブリ演奏団」も、心温まる見事な演奏を披露してくれました。大トリはやっぱり吹奏楽部。圧巻の演奏で締めくくってくれました。残るはエンディングセレモニー。まずは、第一部の各ゲームブースでの結果発表。



そして……最後今日をもって新役員に役割を引き継ぐ、現生徒会本部役員が登場。最後のプレゼントとして、二中生の写真を使って制作したモザイクアートを披露し、二中への想いとこれまでの感謝を語りました。盛り上がっていた会場もスッと静かになって、その姿を見守ります…しみじみとしたいい時間でした。



今年も二中フェスティバルは、生徒の自発的・自治的な活動の場として、とても有意義な行事になりました。活動に携わった全てのみなさん、大成功おめでとうございます。お疲れ様でした！

学校生活の様子・総体の様子を、二中ブログ(HP)に掲載しています。ぜひチェックしてみてください！

